

# 安全研会報

平成27年2月

全国学校安全教育研究会 会報 NO.4  
東京都学校安全教育研究会 会報 NO.39

発行 全国学校安全教育研究会  
会長 井口 信二  
事務局 葛飾区立花の木小学校



## 生きる力をはぐくむ安全文化の創造

全国学校安全教育研究会会長  
東京都葛飾区立花の木小学校長 井口 信二

今年の2月には、東日本大震災で多くの児童と教職員が犠牲になった石巻市立大川小学校の事故検証委員会の報告書が出されました。その中で、○学校の防災体制と教職員の知識・経験等の学校現場の要因、○避難所のあり方や災害時の情報伝達体制等の社会全体に関わった要因、が指摘されています。また、検証結果から得られた教訓に基づき、このような事故を二度と起こさないために、24の提言をまとめました。

また、8月に広島で起こった土砂災害のように台風や大雨による自然災害、10月に突然噴火した木曾御岳山による火山災害のように自然現象により尊い人命や貴重な財産などの被害が頻繁に起こっています。また、学校への登下校の通学路において児童・生徒に不審者による事件に巻き込まれたり、交通事故による被害は後を絶ちません。

本研究会では、巨大地震をはじめとする様々な災害・事故を想定し、子どもたちが「危険を予測し、回避する能力」や「自らすすんで安全な環境をつくる能力」を身につけることができるような研究を続けています。また、全国の優れた実践や取り組みの情報を紹介したり、大学などの研究機関と連携したりしながら、「生きる力をはぐくむ安全文化の創造」を目指していきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 教師の危機管理意識を高める

東京都学校安全教育研究会会長  
東京都世田谷区立塚戸小学 校長 永山 満義

学校は、いつでもどこでも事故が起きる可能性を秘めています。事故には、適切な対策で防げるものもたくさんあります。典型的なのは熱中症です。ニュースの熱中症予報から情報はすぐに得られるし、こまめな水分補給や休憩などの対策もとれるからです。しかし、防げないものもあります。無謀運転の車がいきなり歩道に飛び込んできたときには避けようがありません。地震や噴火、豪雨などによる自然災害も防ぐことはできません。いくら気をつけていても、回避できない事故は存在するし「想定外」の事も起こります。でも、被害を最小限に食い止めることはできます。それは、心に「構え」をもつことです。「構え」とは、教師の危機管理意識のことです。少なくとも次のことはいつも心に留めておき、実践することが大切です。どれも、子どもの命を預かる者として当然のことだといえます。

- (1) 自分の教室を見回してどんな危険があるか想定することが、危機管理の第一歩。
- (2) 日頃から危険を予知する鋭い感覚、危険に対する正しい判断力・知識・行動力を磨いておく。
- (3) 危険箇所に気がついたらすぐに対応する。「まあいいか」の心のゆるみが事故を招く。
- (4) 緊急時の体制の見直しを図るとともに、マニュアルはいつも目に付くところに置いておく。
- (5) 定期点検や安全点検などは、必ず実施する。当たり前のことを当たり前に行うことが大切。
- (6) 実践的な安全指導計画を作成し、全学年全学級が必ず実施するようにする。
- (7) 日常的な安全指導はこまめに行い、自ら危険を予測し回避できる子どもを育てる。
- (8) 事故の後の初期対応が、その後の展開を大きく変える。特に管理職への報告を忘れずに。
- (9) 判断に迷ったら安全策をとる。(何も起きなければそれでよかったのだと考える)
- (10) 子どもの命は絶対に守るという強い使命感をもつ。これがすべての基本となる。

## 「正しい知識と理解のもとに、適切に判断し行動できる子ども」を目指して

### ～福島市における放射線教育～

福島県福島市教育委員会学校教育課

東日本大震災に続いて起きた福島第一原子力発電所事故により、福島市に暮らす子どもたちは、低放射線量と長期間にわたって向き合っていくことを余儀なくされました。本市における放射線教育は、本市に暮らす子どもたちが、共に前向きに生きていくことができるよう、一人ひとりに「放射線に対する正しい知識と理解のもとに、適切に判断し行動できる力」を育むことを目標に、平成24年度の2学期からスタートしました。

本市教育委員会では、これまでほとんど前例のない放射線教育に対して、同一の指針に基づき、客観的な立場から授業が実施されるよう、市の放射能対策アドバイザーや学識経験者等にご意見をいただきながら、市内教員の協力を得て、本市独自の「放射線教育指導資料」を作成しました。指導資料には、小学校1年から中学校3年までの各学年における指導内容及び指導事例、授業で使用する資料やワークシート等を示しました。震災・原発事故の影響により本市に避難している子どもたちが学級に混在しているという現状から、放射線教育の指導内容の一つとして望ましい人間関係づくりや心のケアを位置付けるとともに、各校における見直し・改善のための資料として、「防災マニュアル」のモデルも収録しました。

指導資料は、各校における実践の成果と課題、日々変化する本市の状況等を踏まえ、毎年改訂を行っています。平成25年度は、本市における放射線教育の全体構想図を示すとともに、指導内容を右の6つの観点から整理し直し、新たな学級活動の指導事例を開発するとともに、測定や実験などの体験的な活動を取り入れた教科、総合的な学習の時間における指導事例も併せて示しました。

平成26年度は、指導資料改訂に加え、「放射線教育推進校」として、市立小・中学校各1校を指定し、市内幼・保・小・中・特別支援学校の先生方を対象に授業研究会を開催しました。参観者からは、「生徒のみならず、自分自身、福島でどう生きていくべきか考えさせられる授業だった。」「正しい知識を継続的に学ぶこと、子ども自身が福島の現状について考え、話し合うことの大切さを改めて感じた。」等の感想を得ました。

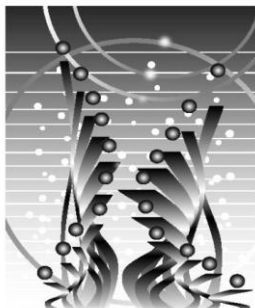
震災から3年半が経過し、本市の子どもたちを取り巻く状況は、震災直後と大きく変化しています。校地内の除染が完了し、校庭に子どもたちの声が戻ってきたこと、学校プールが再開されたこと、給食まるごと検査の体制が整えられ、安全・安心な給食が提供されていることなど、着実に日常の学校生活を取り戻してきています。しかし、その一方で、通学路の除染は未だ完了していないこと、現在も不自由な避難生活を続けている子どもがいることなど、まだまだ多くの課題が残されていることに加え、子どもたちの放射線に対する意識が薄れてきていること、震災の記憶がほとんどない子どもたちが入学してきていることなど、新たな課題も顕在化してきています。放射線教育は、今後においても本市において欠くことのできない教育の一つであり、全ての市立小・中・特別支援学校の全ての学級において、一定の内容に基づき放射線教育の授業が計画的・継続的に実施されているのは、本市に暮らす子どもたちの未来を守ろうとする先生方の熱意の表れでもあります。

放射線教育は、継続してこそ大きな成果が表れるものであると捉えています。日々刻々と変化する現状に対応した指導資料へと改訂を重ねながら、福島復興の担い手である子どもたちが本市において、将来にわたって健康で安全に生活していくことに資する放射線教育を推進していきたいと思っております。

本市における放射線教育の指導内容  
ア：放射線等に関する知識  
イ：放射線事故への対応  
ウ：外部被ばくの防止  
エ：内部被ばくの防止（健康な生活習慣）  
オ：復興に向けた本市の取組  
カ：心のケア

#### 放射線教育指導資料

改訂版



福島市教育委員会

## 児童・生徒の判断力、行動力を育む防災教育をめざして～小田原市の防災教育の取組～

小田原市教育委員会 教育指導課 石井美佐子

小田原市は、南は相模湾、西は箱根連山に接し、中央に酒匂川が流れるなど、豊かな自然に恵まれているが、東にある国府津―松田断層も含めて、自然が大きな災害につながる可能性もある。このような環境の中で生活する子どもたちには、自然と共存しながら、自分自身の命はもちろん、家族や友人の安全、そして地域の安全を守る力を育てていくことが求められており、学校では、防災教育を教育課程に位置づけ、また、地域と連携しながら推進している。

### 【学校防災アドバイザーの派遣】

学校防災アドバイザー（矢崎良明先生／鎌倉女子大講師・板橋区学校防災・安全教育専門員）を市内小・中学校計6校に派遣した（市内全36校に順次派遣予定）。矢崎先生には、避難訓練の様子を実際に見ていただき、良かった点や改善点等をご指摘いただくとともに、校内の防災計画や設備等の状況についても具体的な指導・助言をいただいた。

大規模な地震があった際には「落ちてこない・倒れてこない」場所で自分の身を守ること、児童・生徒の安全を確保するために「落ちてこない・倒れてこない」環境をつくるのが大切であることや、緊急地震速報報知音を利用した避難訓練が有効であることなどを学んだ。

指導を受け、市教育指導課では、全小・中学校に緊急地震速報の報知音のCDを配布し、学校では児童・生徒が報知音を聞いて、自分で判断し、適切な避難行動がとれるよう、休み時間に訓練を実施したり、予告無しの訓練を設定したりするなど工夫して取り組んでいる。

### 【防災教育指導資料の活用】

東日本大震災を受け、市教育指導課作成の防災教育指導資料を津波に関する内容を加えて改訂し児童・生徒に配布するとともに、活用事例集を作成し活用の促進を図っている。

防災教育指導資料の巻末には、一時避難所や災害の際の家族の集合場所等、児童・生徒が保護者とともに記入する欄を設け、各家庭で防災について話し合う機会がもてるようし、児童・生徒だけでなく保護者の防災意識も高められるよう努めている。

### 【学校と地域との連携の推進】

自治会主催で開催される広域避難所開設訓練に、児童・生徒の積極的な参加を呼びかけている。平成26年度は、ボランティアとしての自主的な参加を促すだけでなく、授業の一環として学年全員で参加する学校もあった。また、平成25・26年度は、毎年1校ずつ、地域のDIG（災害図上訓練）研修会に中学校の生徒が参加している。

また、地域や関係団体等の協力を得ながら、救急法の講習等、支援者育成の視点からの訓練に取り組んでいる中学校もある。地域の防災訓練や研修会等に参加することは、地域の方と共に地域防災のあり方について考える貴重な機会となっており、地域全体の防災意識を高めることにもつながるものと考えている。支援者育成の視点からの防災教育を推進する上では、地域と児童・生徒が、互いの顔がわかり、声をかけ合える関係であることが大切であるので、今後も様々な機会をとらえて児童・生徒と地域とのつながりを深めていきたい。



地域の防災訓練でチェーンソーの使い方をおぼる中学生

児童・生徒が学校内で活動する時間は限られている。学校だけでなく、家庭や地域において、あるいは外出した先で、自分自身の命・安全を守ることができる判断力と行動力を育てること、加えて中学生においては、自分の身の安全を確保した上で、支援者として行動する意欲を育てることができるよう今後も取り組んでいきたい。



## 天皇皇后両陛下が安全教育の授業をご視察

平成26年5月8日（木曜日）に、天皇皇后両陛下は、全国学校安全教育研究会会長・井口信二が校長を務める 葛飾区立花の木小学校を視察に訪れ、防災教育の授業を ご覧になりました。両陛下は毎年5月5日の子どもの日 の前後に学校を訪問なさっており、今年度は、東日本大震災の被災地等を訪問される中で、防災教育に強い関心 を持たれたことから、今回の訪問となりました。花の木小学校は、平成25年度の全国学 校安全教育研究大会



の会場校で、安全教育の研究をしていた学校です。当日は、4年生と 6年生の2つの授業が行われ、全国学校安全教育研究会の前会長で、現在、鎌倉女子大学講師の矢崎良明先生が6年生の授業を担当しました。緊急地震速報の原理となるP波とS波の地震波の伝わり方の授業をしました。両陛下は、興味深く授業をご覧になり、ご視察のあと、皇后陛下は「P波のPは primary のP、S波のSは secondary のSですね」などとおっしゃっていました。今回のご訪問は、全国学校安全教育研究会として大変名誉なこととなりました。

【写真は葛飾区政策経営部広報課提供】

### 全国安全教育研究会 役員名簿

役職	氏名	所 属	役職	氏名	所 属
会 長	井口 信二	葛飾区立花の木小学校	事務局顧問	池田 實	元全安研会長
副会長	桶田ゆかり	文京区立第一幼稚園	同	矢萩 恵一	学校安全教育研究所
同	木次 勝義	島根・出雲市立古志幼稚園	同	澤野 明夫	さいたま市立土合公民館
	落合 光行	千葉市立みつわ台小学校	同	矢崎 良明	板橋区教育委員会庶務課
	角屋 房男	羽生市立西中学校	会計	渡部佳代子	江東区立みどり幼稚園
事務局長	津布久郁夫	足立区立江北小学校	監 事	平野 哲士	北区立十条台小学校

### 東京都安全教育研究会 役員名簿

役職	氏名	所 属	役職	氏名	所 属
会 長	永山 満義	世田谷区立塚戸小学校	副部長	山田 誠一	江東区立南砂小学校
副会長	原野 隆	板橋区立富士見台小学校	同	西原 洋一	品川区立御殿山小学校
同	桶田ゆかり	文京区立明化幼稚園	同	津田 昌明	荒川区立汐入小学校
			同	安藤 力也	世田谷区立塚土小学校
事務局長	平松有理子	世田谷区立祖師谷小学校	同	松本 麻巳	足立区立鹿浜第一小学校
事務局	黒澤 聡子	江東区立ちどり幼稚園	同	山路 智之	世田谷区立塚土幼稚園
同	高野 富	西東京市立保谷小学校	同	原 洋子	文京区立誠之小学校
同	渡邊 光一	葛飾区立花の木小学校			
同	西川 幸延	世田谷区立塚土小学校	広報部長	川田 辰男	板橋区立志村第三小学校
研究部長	木間 東平	葛飾区立半田小学校	副部長	濱脇 哲也	板橋区立蓮根小学校
副部長	富田美穂子	足立区立花畑西小学校	同	下田美穂子	文京区立窪町小学校
同	角田 成隆	足立区立東綾瀬小学校	会計部長	鳥塚 恵子	文京区立根津幼稚園
同	多門 裕之	荒川区立第四狭田小学校	副部長	山元 敬子	世田谷区立松原小学校
同	伊藤 進	大田区立赤松小学校	監 事	平野 哲士	北区立十条台小学校